

## 本事業で連携するタイ経済団体について

### 1 タイ裾野産業振興協会(Thai Subcontracting Promotion Association)

2003年に発足した、タイ国内の部品メーカーにより構成される経済団体。会員であるタイ企業数は400社以上に上り、タイ国内の主にTier2、Tier3の製造業企業で構成される経済団体としては有数の規模を誇る。自動車部品サプライヤーを始め、様々なタイ企業が会員企業となっており、ロボティクス・自動化や金型・鋳造、機械・エンジニアリングなど16の産業分野に分けられている。

日系企業も多く参加するタイ・バンコクの自動車部品や金属・樹脂加工、電気・電子部品等の展示会「SUBCON Thailand」を毎年主催しているほか、各種セミナーの開催、企業間ビジネスマッチングの実施等、会員企業に対する支援事業を広く提供しているとともに、歴史的にタイの産業と関わりの深い日系企業との協業及び連携を積極的に進めている。

(出典) タイ裾野産業振興協会HP : <https://thaisubcon.com/en/>

### 2 タイ工業連盟(The Federation of Thai Industries)

1987年に発足したタイの経済団体で、タイ裾野産業振興協会と異なり財閥企業であるCPグループ、Siam Cement Groupを始めとしたタイの名だたる大企業を含む様々な会員企業から構成され、会員企業数は16,000社にも及ぶ。タイ工業省の監督下にあり、タイの産業の強化と発展を推進し、国際的な競争力を高め、タイの経済・社会・環境の持続可能な発展を目指して活動する政策機関として、国内の産業界に影響力をもつ。

2025年5月に日ASEAN経済産業協力委員会(AMEICC)及び一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)が開催した「日ASEAN人材育成<sup>エイメック</sup>フォーラム」に共催として参画するなど、日本の行政機関とも繋がりが深く、民間企業主体の経済団体として政府への政策提言活動等も行っている。

その一方で、国内外企業のビジネスマッチングにも積極的であり、組織内に常設のビジネスマッチング部門を擁するとともに、「FTI EXPO」を始めとする主催展示会において、大規模なビジネスマッチングイベントを実施している。

(出典) タイ工業連盟HP : <https://fti.or.th/>